

あまでうす

『犬山城下めぐり』

一月二十六日は『文化財防火デー』でした。国宝犬山城では毎年、防火訓練が行われます。また、この日だけは犬山城をはじめ、からくり館、文芸史資料館（城とまちミュージアム）が無料開放されるとあって、多分にもれず寒い中、散策を兼ねてゆつくりと周ってきました。

お城では、天守から出火したという想定で、天守と地上とで防火訓練が行われた。それを見学した後は、久々に登城し、天守から木曾川を境にして我が各務原と犬山の景色を、石川五右衛門ではないが、絶景かな、絶景かなという気分であらめてきた。

お城を後にして、からくり館へ入り、からくり人形の見事な実演を四、五人で二十分ほど観て、向かいにあるミュージアムで、犬山の歴史に触れ

てきた。そこに『犬山音頭』というSPレコードが展示されていた。また、都はるみの歌う『恋の犬山』（ドーナツ盤）もあり、係りの人に「YouTubeで聴くことができますか？」と尋ねたところ「さあ、どうぞですかねえ……」という返答であった。

今年、『戌年』とあって、犬山が脚光をあびている。特に三光稲荷神社は、犬山城城主成瀬家を祀る守護神ということもあり、ここにある、ピンクのハート型をした絵馬に、願いを書いたものが何と多いことか。見ていると次から次へと書いてる人たちがいた。それを横目に、階段を下りて古い町並みの残る城下を、つまみ食いしながら逍遥した。

ひ挑戦してみてください。

第一問 犬山城は別名なんと呼ばれているのでしょうか？

①白鷺城 ②白帝城 ③わんまる城

第五問 天守正面の右側に付櫓（つけやぐら）があります。これは何のためにあるのでしょうか？

①物置として使った ②城番の役人の詰所 ③正面からの防御

名が付けられたという。

第二問 ②長寿と魔除け……桃を食べると不老不死の力が得られるというところから使われている。

第三問 ①望楼型……天守大屋根の上に望楼が乗っているような構造から

第二問 天守の屋根に珍しい桃の形をした瓦がいくつもあります。これにはどんな理由があるのでしょうか？

①優しさの象徴 ②長寿と魔除け ③桃太郎伝説から

難攻不落の城として有名な国宝犬山城は、木曾川沿いの小高いところに凛として建っている。天文元年（二十五年）頃に織田信康が城下町の南にあつた木之下城を移築したと伝えられ、天守の創建は、天正元年（二十年）頃と、慶長元年（二十年）頃とするふたつの説があるという。

こう呼ばれている。

第四問 ③野面積み……もつとも古い積み方で、ほとんど加工していない石で積んである。

第五問 ③正面からの防御……正面からの敵を横から攻撃するため。

第三問 犬山城天守は古いタイプの構造を持っています。それは次のうちどれでしょうか？

①望楼型天守 ②層塔型天守 ③階層型天守

さて、先ほどの問題の解答と解説です。

第一問 ②白帝城……中国の白帝城と景観が似ているところから、この

犬山城検定はいかがだったでしょうか。

というところで突然ですが、国宝犬山城にまつわる『犬山城検定』です。全部で五問出題いたします。皆さんは果たして何問解答することができのでしょうか……。

第四問 犬山城の石垣を何積みと言うのでしょうか？

①算木積み ②谷積み ③野面積み

て、錫を2つ買ったつもりだったのに一個しか買っていたいなかったという落ちをつけて……！

さあ、次目指すは養老中央公民館！ここでは、風地蔵で展示会をして下さったことのある社長と同郷の熊本出身の水野理恵子先生の教室の絵手紙を観に行きます。

達が先生のことをすごく尊敬しているのが分かります。

先生はいばっているわけでもなく、淡々とした感じで、

「あら！きてくれたの。一度見に来て欲しかったの。よかった。」と私の手を握ったまま案内をしてくださって、10年以上お会いしていないのに、ついこの前まで会っていたかのように、もてなして下さいました。

心の中で、「きてよかったです」とおもいました。

今日のデートは、強行スケジュールですが、どちらにも観に行けて良かったと思います。

学ぶべき事が多い一日でした。

心のエネルギー充電して来ました。

又、これからもいろんな所に出かけていきます。さあ次は、どこに行こうか。何を観ようか。楽しみです。 おわり

風地蔵新聞

第173号

編集 白石美帆
発行 風地蔵
〒503-0922
岐阜県大垣市馬場町85
感想・エッセイ・おちま
俳句・俳句・おちま
歌・歌・おちま
歌・歌・おちま
歌・歌・おちま

シヤガール展と絵手紙展

鎌澤宣子

2月15日、朝7時40分頃シヤガール展を観に名古屋に向かいました。この日は、2つの展示会を同時に観に行くという強行スケジュールです。

まず朝ほぼおープンと同時に名古屋美術館に到着！名古屋美術館は初めてです。白川公園の中にあり、環境も良いところなので、今度ゆつくり散策したいなと思いましたが、

私は、シヤガールがどんな絵を描くのかもあまり知りませんでした。いろいろな方にシヤガール展を観に行くんです。とお話しをすると、シヤガールは「お一人だけ、方が多い中、お一人だけ、シヤガールは優しい絵を描きますよ」「私好き

です」「前はゴッホとかピカソガス機だったんです。でも今は、モネとかシヤガール好きです」といつてらっしゃいました。

この方の意見ですが、「ゴッホとかピカソを好きな方は、心が少し病んでいるんだと思う。私がそうだったから」といつてらっしゃいました。

おもしろい解釈だなと思いました。

シヤガールってどんな絵を描くのか、ドキドキしながら中に入りました。まずは目に飛び込んできたのは、誕生日の絵です。ゴッホやピカソと違って優しいタッチです。そして彫刻の多さです。構図も独特な世界観！とても自由な発想から生まれる絵かと思うととても考え抜かれています。

というのも、絵にしろ彫刻にしろ何枚も何枚も下絵を描いています。多いときは、一枚の絵に対

して、4枚5枚と下絵を描きます。

まずは下書き、次に清書というか、もつとていねいに、次に色まで入れるというこだわりです。そういう風なので視野は狭いのかと思うとかなり広いですね。一枚の絵に生まれ育った景色も、画家として成長した景色などを盛り込んでいたり、とにかく自由です。緻密さの中に、奔放さがあると思えます。

そしてなんといつても、長生きです、97歳まで画家として生きてきました。す。それも驚きでした。画家としての人生を全うされたんだと思えました。すごいことですね。

感動の余韻を味わいながら、いつもはグッズを選ぶのですが、次の予定もあり、息子をせかさながら、ポストカードと錫の剣山をあわてて買っ

て、錫を2つ買ったつもりだったのに一個しか買っていたいなかったという落ちをつけて……！

さあ、次目指すは養老中央公民館！ここでは、風地蔵で展示会をして下さったことのある社長と同郷の熊本出身の水野理恵子先生の教室の絵手紙を観に行きます。

理恵子先生の展示会は、とてもセンスがあり、絵手紙が生きた展示の仕方です。随所に季節を演出して、和と洋をうまくとり入れ展示をされます。もちろん絵手紙もとても勉強になります。

展示場に入ってすぐまだ色塗りの途中の絵手紙が帯に貼って展示してあります。

いわれないと色塗りが途中なんて気がつきません。空間をうまく利用してディスプレイをしてあったりと、そこには感動と喜びが伝わってきます。

理恵子先生は3時頃に来られたのですが、先生が到着するとその場の雰囲気が一変します。すごいオーラが伝わってきます。そこにいる生徒さん

達が先生のことをすごく尊敬しているのが分かります。

先生はいばっているわけでもなく、淡々とした感じで、

「あら！きてくれたの。一度見に来て欲しかったの。よかった。」と私の手を握ったまま案内をしてくださって、10年以上お会いしていないのに、ついこの前まで会っていたかのように、もてなして下さいました。

心の中で、「きてよかったです」とおもいました。

今日のデートは、強行スケジュールですが、どちらにも観に行けて良かったと思います。

学ぶべき事が多い一日でした。

心のエネルギー充電して来ました。

又、これからもいろんな所に出かけていきます。さあ次は、どこに行こうか。何を観ようか。楽しみです。 おわり

節分の出来事

佐藤 凱翔

2月3日節分、パパは朝から仕事して帰ってきたらママとばあちゃんが出中であんなに怖いと聞いて、ママが待っていた。らんちゃんダッシュしてパパにつっこんできて「ぎゅー」としてパシパシパシ。ママとばあちゃんどこへ行ったのかなあと思っている間に帰宅。

何を買ってきたかと思ったら鬼の変身道具。ツノカツラ、鬼のパンツ、そして顔塗りの道具。いよいよパパ鬼さん、じい鬼さんに変身開始。パパは青鬼。じい鬼さんは赤鬼カツラかぶり鬼パンツに着替え顔塗りして変身完了。パパはアバターみたいになりらんちゃんの元に。ママの「鬼さんがきた」との合図で突入！

「ぎゃー」とらんちゃんナイスリアクション。鬼が怖いとわかるらんちゃん。ママにしがみつきのながら「ぎゃー」「ぎゃー」「いやー」と大絶叫。鬼が怖いと思うことが出来て、パパ満足。

赤鬼のじいちゃん青鬼のパパから元のじいちゃんパパに戻る。とき顔塗りの材料がなくなか落ちない。洗っても洗っても落ちない。あらかた落ちたららんちゃんのおもちゃも落ちるとママから

「まだ落ちてないパパが鬼ってバレる」と言われお風呂入るとに。体こすりで顔をゴシゴシ。やっと

落ちたと思ったら顔がひりひり。変身より元に戻るのが大変とわかり今年の節分鬼さん豆まき終了！らんちゃんが鬼が怖いのにじいちゃんやママが変身好きと分かったり楽しい節分になりました。らんちゃんは今でも「鬼」と聞くとかたまり心臓バクバクで怖がっています

わせたとき、今まで「大きくなったな」と思っていたけど、まだまだその手は小さく私の手にはほど遠いんだなって思いました。そりゃ心も気持ちもまだまだ子どもなんだなって。ついつい出来ることが増える、「成長した！すごい！」と思ってしまうがちだ。よくみると「まだこんなにも小さいんだよ」といわれているように涙かです。

その日の夜、晩ごはんの後片付けをしていると茶碗を小さい両手でゆっくりゆっくり持って台所まできた走琉ちゃん。やっぱりスゴイ！！と思ってしまう。(笑)

絵本が大好きな走琉ちゃん。何冊も持ってきてはみんなに読んでと訴え、全部読みたいと泣き返すから、お母さん泣き返す。(笑)

大変なときもあるけれど、走琉ちゃんのお母さんとして、世界で一番大好きな走琉ちゃんの声にしっかり耳を傾けたいと思ってしまう。私はまだ一

最近、甘えん坊になった走琉ちゃん。家族みんなの手を尽くすも、ぐずる走琉ちゃん。ママは予定日一ヶ月切り、陣痛が怖くてずっとウジウジ。そんな保育園の帰り、車内でふと走琉ちゃんの手と私の手を合

大きくなれ

佐藤 李恩

歳と四ヶ月。節分の前日は保育園でも鬼が来たみたいで迎えに行くといつもいろんな所にいる子ども達がなんとなくく輪になっていく！！夜は思い出して泣くのかなうと思っただけで爆睡するらんちゃん。

節分当日は、ばあちゃんママと太宰府天満宮へ。豆が上から投げられ一生懸命ママもらんちゃんも拾います。外国の方もきゃーといいながら拾っていたけれど吹き飛ばされてしまいました。(笑)

その後は、赤鬼と緑の鬼がいてばあちゃん曰く今までは追いかけてくるらしんだが、みんな自分の子供を鬼に抱かせ写真撮影！それだけでも、子供にとっては恐怖でみたことのない泣き方でした。(笑)

そうそう、節分っていうのはなぜこの時期なのか。ある講習会で教えて頂いたんですが、この時期はかかなり寒く心もぎゅーっと緊張してしまう。少しした

ことでもイライラしてしまいがち。ツノがでてしまふことからは、鬼をみて同じ顔になっていないか大丈夫なのかってことで節分があるんだとか。節分は怖いと印象がありますが自分の中の邪気をはらうという意味だそうです。夜には、じいちゃんやママにも鬼をやっでもらおう！ということでおおのドンキ・ホーテに衣装を買に行くのも高い！高すぎる！あまり良い衣装でもないし。(笑)

とりあえず、パンツとカツラと顔に塗るペイントみたくなのを買って帰りました。帰宅すると、パパも帰っててごはん途中でしたが着替えさせ、鬼に変装(笑)「どうぞ」といってかけ声にあわせてじいちゃんやママが変装して入ってきます。もうらんちゃん大暴れ(笑)じいちゃん演技がうますぎてらんちゃん本泣き。でも、じいちゃん鬼なのに「鬼はそとー福はーうちー」と言ってる。おかしくてしょうがないのは私だけ？(笑)

ましい(笑)日本には、昔から伝わる行事や歌など沢山あるので、ママも勉強のためにいろいろ挑戦していきます。

パパも！とらんちゃんを抱きかかえ「食べちゃうぞ」というのだけれども、いつもの優しいパパの甘々〜いこえで、一度二度と固まるらんちゃん。「んっ？」でも、顔は鬼なのでらんちゃんもう一回泣いてあげます(笑)その後、豆を投げなるとか退治！！怖かったけど、何事もなかったように寝るらんちゃん。たく

秋のまちゼミ⑤

原 由里子

そして、秋のまちゼミの最後を飾るのは、ナンデモヤさんです。ナンデモヤさんは、昔からお店でお店、他のお店になくても、ナンデモヤさんに行けば必ずあるという、店の中は商品で埋め尽くされています。10月19日(木)14時から15時まで。内容は、「○○○も知らない日用品の世界」です。参加対象は、初めての方となっております。まぢゼミ当日、天気は雨です。レインコートを着るのことも思い、歩いて行くことにしました。自転車で行って、余裕で着ていれば、余裕で着ていなくても、歩いて行ったのもあり、ナンデモヤさんに聞いたとき、は10分も遅れていました。当然始まっていました。参加者の中で、私だけ来ていないので、お店の方が外を待って私を来るのを待ってました。途中で参加になりました。講座の内容は、ナンデモヤさんの中には、ある商品で今では目にしなくなつたため、紹介したい日用品の紹介でした。なので参加者は「初めての方」というわけですね。私が座った席の前には、私が来る前に紹介された物だろ、という、日用品が置いてある。銅で作った卵焼きを作る、四角のフライパンが置いてあります。職人さんが使うよ

うな物で、火の通りが良く、ふわっとした卵焼きが出来ます。良い物なので値段も、結構いいです。一番高い物で、3万7千円します。買えませんが、紹介される日用品が次々と出てくるので、気づくと私の前には紹介された日用品が山盛りになっていました。参加者を見ると私以外、オール70歳越えをしたような方達ばかりで、古い日用品が出てきて、「昔使ったことがある」という使用方を知っている、昔を思い出すという感じのようです。性別も男性三名、女性私を入れて2名と5名の参加です。本当にホームセンタ―にも置いていないものが紹介されました。その中に天秤棒という物が出てきました。かなり硬いし、つかいにくい棒で、両端に溝のような物があります。時代劇で見かける、野菜などかごに入れて運ぶ棒です。参加者の男性が、「子どもの時、よく運んだけど、こんな引つかかるものなかつたからな。」と言っていました。さすがです。この天秤棒、あまり必要もないのもあるのですが、7千五百円と高いです。風地蔵にあつたら、何かのディスプレイとして使えそうです。そのあと本当に藁で作った草履が出てきました。今、履く人いるのかな?と思うくらい長い時間は履けないうような物です。この草履を見た先程の男性が、「子ども雨の日に履いていたけど、雨の日履いていただけ

わ。ーと言つていました。経験に勝るものは無いです。ブラボー! この男性曰く、藁草履は履くにはなかなか厄介なようで、飾りとして置いておくにはいいようです。風地蔵にはいいかなと、つい思ってしまった。一足五百円。昔はもつと安かつたので、いわゆるビックリするくらい高くなつてきた。五百円か。買わない。他にも日用品が出てくる中で、ガラスで出来た棒がありまして。先は、ラツパのよう長い筒状になって、下の部分は、プラスチックのようになっています。これ何? 今までは本当にめづらしい、ハエ取り棒だそうなんです。球の中に入れて、ハエが入らなうらラツパのようになると、ハエが落ちて取れるそうです。私の左隣に座っていた女性も古い日用品が出てきて、私に説明して下さる方で、「これ、本当に取れるのよね。プラスチックで出来たのもあるけど、それでは取れないのよ」と言っていました。そうなんです。ナンデモヤさんが紹介された時、このハエ取り棒を出したら、かなり反響がたつたそうなんです。実はガラスで出来たハエ取り棒、今は作られないように、

元来た道

人生にもマラソン同様「折り返し地点」があるという。大抵の人は意識をしていない。平均寿命を80才として、10才から45才、46才から80才。日数に直すとどちらも一万四千余日。同じ道を反対に進む。逆走することが、前に進むことになる。折り返さずに一筋の道を進んで行くと、つまらない人になってしまう。ちょうど46才のじぶん。折り返しの「三角コーン」を回った。違う景色が見えるかも。小さなじぶんは捨て、大きな常識を取り込む。走ってきた道を、歩いて戻る。

庭師 奥田良樹

ある博物館で展示されてる貴重な物だ。それが、ナンデモヤさんでは、980円です。今では作られていない博物館にも展示されている貴重さがない。980円で売っている。うん。ハエ取り棒を握りしめながら、次々出てくる日用品の話聞いています。なので今、お店のソファ席の部屋にハエ取り棒が展示してあります。紹介された日用品の中には、家にある桃の絵が着いた大きなマツチ箱がありました。作られていないそうです。昔からある物がどんどん消えていくんだなと、少し寂しさを感じました。15時になり、ま

ちゼミが終了しました。隣の女性の方と話をしていたら、風地蔵に来たことがあつたというので、今回もつながらの、今回アンケートを書き、ハエ取り棒を買って帰りました。ハエ取り棒は割れ物なので、すぐお店に置きに行きました。今回のまちゼミもいろいろなジャンルの体験が出来て楽しかったです。次は春のまちゼミがあります。参加したいのに、参加したいなと考えるけど、もう少し後の話です。それでは。おわり